



校長通信

令和3年度 3号 令和3年5月11日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

立夏も過ぎ、天気の良い日中は少し汗ばむような季節となりました。毎年、この時期の通信等でお話載するのですが、みかんの花が咲く季節でもあります。みかんの白い花卉は、小さくて見た目にあまり注意を引くものでもないのですが、甘酸っぱい、心地よい香りがあたり一面に広がり、初夏の訪れを感じさせてくれます。私が暮らす有田市は、今、みかんの香りがいっぱいです。



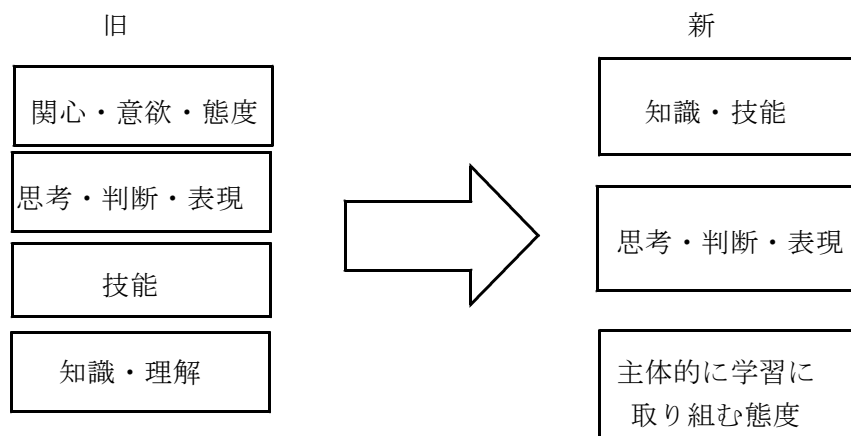
《新学習指導要領と評価について》

今年度から、中学校では新学習指導要領が全面実施となりました。学習指導要領とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際に必要な基準を定めたものです。

新学習指導要領では、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。」とされています。この考えをもとに、各教科等の「目標」「内容」を①知識・技能の習得（知識・技能）、②習得した知識をどのように使うか（思考力、判断力、表現力等）、③主体的に学習に取り組む態度（学びに向かう力、人間性等）の3つの柱で整理しています。

これに伴い、評価も今までは4観点（関心・意欲・態度）、（思考・判断・表現）、（技能）、（知識・理解）であったのが、3観点（知識・技能）、（思考・判断・表現）、（主体的に学習に取り組む態度）となりました。学期末の通知簿も、3観点の表記になります。

それぞれの評価の観点については、次号で説明いたします。



（参考：文部科学省 HP）